

2010 グローバル・フォーラム 【台湾とともにクラウドを享有】

—クラウドコンピューティング世代の新3C技術と技術革新フォーラム—

序文

2010 年全世界は新3C産業—クラウド・コンピューティング (Cloud Computing)、インターネットの接続 (Connectivity)、クライアント・デバイス (Client Devices) —の到来と挑戦を受けています。中華民国(台湾)政府もクラウド・コンピューティング産業を非常に重視しており、正式に四大新興知識産業におけるリーディング産業に認定するだけではなく、2010年4月末には『クラウド・コンピューティング産業発展計画』を通過させました。5年間で240億元の費用を投じ、クラウド・コンピューティング産業の発展を加速する予定です。このように、クラウド・コンピューティング産業の基礎建設に重点を置き、六大新興産業と結合させ、クラウド・ソフトのサービスと新型装置の発展させる方針です。このほか、中華電信株式会社、財団法人工業技術研究院、財団法人資訊工業策進会(情報産業研究所)、台湾区電気電子同業組合(業界団体)、中華民国情報ソフト協会など台湾の産業界と国内の70を超える企業が今年4月に『台湾クラウド・コンピューティング産業連盟』を結成、官民合作を強く望むとともに、台湾を世界のクラウド・コンピューティングの発展センターにすべく努力しております。

驚くべき潜在力を持つクラウド・コンピューティングの商機を目のあたりにし、中華民国経済省は特別企画として今年5月31日(台北国際コンピューター展30周年の前日)に台北国際会議センターで『2010年グローバル・フォーラム』を開催することになりました。クラウドコンピューティング世代の新3C技術と技術革新をテーマに、華碩電腦(ASUSTek)、AMD(Advanced Micro Devices)、雅虎(Yahoo!)、台湾創銳訊科技(Atheros)、美商高通国際



MINISTRY OF
ECONOMIC AFFAIRS



(Qualcomm)、美普思科技(MIPS)、微星科技(MSI)を含む国内著名企業最高幹部のご参加を賜り、皆様とともに【台湾とともにクラウドを享有】させていただきます。使用言語は英語ですが、日本語の同時通訳を準備中です。インターネットで無料のお申し込みができますので、詳しくは経済省投資業務処のウェブサイト(<http://www.digitimes.com.tw/seminar/MOEA990531.htm>)をご覧ください。国内、国外を問わず企業の主管者、創業者、投資家、専門家、そしてマスコミ関係者のご来場を歓迎いたします。

2010 グローバル・フォーラム

主催：  中華民国経済省

実行：  DIGITIMES
Media · Marketing · Consulting

時間：2010 年 5 月 31 日(月)午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分

場所：台北国際会議センター(TICC)3 階宴会庁(台北市信義区信義路五段 1 号 3 楼)

プログラム

時間	内容	講演者
08:30~09:00	受付	
09:00~09:20	ご挨拶	経済大臣 施顔祥
09:20~10:00	ソフトとハードを整合してクラウド市場のビジネスチャンスを手に入れる	緯創グループCEO 林憲銘氏
10:00~10:40	クラウド時代のパソコン製品におけるイノベーション戦略	AMD グローバル副会長(確認中)
10:40~11:00	休憩	
11:00~11:40	クラウド時代におけるパソコン産業のチャンスと変革	MSI卓上型プラット ホーム製品事業本部長 江勝昌氏
11:40~12:20	クラウド体制下におけるネットワーク・コミュニケーション技術の発展	Atheros コンピューティング & コンシューマー・ Gary Szilagyi 氏 ユニット副社長兼本部長
12:20~13:30	昼食(4階貴賓庁)	
13:30~14:10	クラウド時代の携帯製品の発展方向	Qualcomm 副会長(確認中)
14:10~14:50	クラウド体制下のイノベーションプラットフォームと付加価値の応用	Yahoo! 商品及び内容事業グループ副本部長 林振徳氏
14:50~15:10	休憩	
15:10~15:50	消費性装置のクラウド時代における技術革新戦略	MIPS 副社長 Art Swift 氏
15:50~16:30	クラウド時代における3Cの新設計とソフト・ハードの整合	華碩電腦副会長 陳志雄氏

- 諸般の都合により日程が変更される可能性があります。
- 参加対象：国内外の企業の管理者、専門家、創業者、投資家、投資企業
- 人数：400名
- 申し込み期間と方法
 - A. 期間：2010年5月7日(金)～5月25日(火)
 - B. 方法：
 - ①インターネット(<http://www.digitimes.com.tw/seminar/MOEA990531.htm>)
 - ②ファクシミリ(886-2-8712-0232)
 - C. 連絡先電話：886-2-8712-8866 (内線：322) 許まで
メールアドレス：irene.hsu@digitimes.com